

## 「森の時間」森あそび森まなび推進事業について

- 1 目的 「morinos (モリノス)」(正式名称：森林総合教育センター)では、森林空間を舞台に、近年失われがちな「五感で感じる体験」や「自由な遊び」を通して、“生きる力”や“主体的に学ぶ力(アクティブラーニング)”を育む活動を展開しています。  
地域の森や校庭が日々の教育や保育と真の意味でつながり、子どもたちの健全やかな成長を促すことを目的とした「森林体験の日常化」を目指します。
- 2 実施期間 令和7年5月から令和8年3月末まで
- 3 連携対象 保育所、幼稚園、こども園、認可外保育施設、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校 等
- 4 募集内容 前述の目的に賛同し、子どもたちと森が日常的につながっていくことを最終的な目標とした、以下3種類の活動のうち1つを「受け身ではなく主体的に」実践していきたい保育教育施設を募集します。  
募集数：①と②合わせて15施設程度、③は6施設程度。

タイプ	活動概要(個別相談の上、内容を決めます。以下はほんの一例です。)
① 森の出前体験(年1回) *原則、過去に①の利用が1回以下の学校等が対象	morinos スタッフが園や学校に行き、園庭や校庭、近くの森や公園を活用した自由な遊びや森の体験をお手伝いします。 (例) 自由な木工、自由なあそび、自然素材を使ったクラフト、春秋見つけ、火起こし、自然観察、秘密基地づくり、森の整備、森で国語・算数・理科・社会など
② morinos 体験(年1回) *原則、過去に②の利用が1回以下の学校等が対象	morinos にお越しいただき、morinos の広場や森を活用した自由な遊びや森の体験をお手伝いします。 (例) 自由な木工、自由なあそび、自然素材を使ったクラフト、春秋見つけ、水・泥遊び、火起こし、裸足の体験、自然観察、小さな沢登り、森で国語・算数・理科・社会など
③ 通年体験(年3回以上) *3～5年の継続が可能な学校等が対象	将来、週1回以上近所の森や自然の中で保育や教育を積極的に展開していきたい施設のための活動自立サポートプログラム。 自力で地域の森を活用した日常的な保育・教育を実施できるようになるまで数年かけて継続して応援します。 (例) フィールドにしたい地域の森の調査や整備、活動を保護者に理解してもらうための親子行事や講演、自由な遊び、自立に向けたスタッフの研修、森で国語・算数・理科・社会など

※会場確保や地権者等との交渉は学校側の役割です。場所探しでお困りの場合はご相談下さい。

※応募多数の場合は、選考になります。

5 支援内容 学校が企画するプログラムの立案支援、指導者の派遣、道具の貸出し 等  
※以下については、学校等で準備してください。

- ・活動物品、体験材料、消耗品等（morinos が貸出す物品は除く：個別調整）
- ・活動場所の確保（②は除く）
- ・バス等の移動手段の確保 等

## 6 スケジュール

(1) 応募から実施決定まで

- ・応募期間 令和7年 1月 29日（水）～ 令和7年2月20日（木）
- ・実施決定連絡 遅くとも 令和7年3月14日（金）までにお知らせします。

(2) 実施決定から実施まで（事前調整時期は目安です）

- ・2ヶ月前 電話による事前調整（日程、場所、参加者、服装、写真、雨天時対応 等）
- ・1ヶ月前 活動場所事前調整（当日参加の教員等と現地踏査、活動内容確認 等）
- ・前日まで 受け入れ側での事前準備
- ・当日 プログラムの実施

## 7 応募方法

森林総合教育センター(morinos)のHPの以下の申込みフォームに令和7年2月20日（木）までに入力願います。

「なにができるの？」→「県内の学校・団体向けプログラム」→「申し込みフォーム」



【過去の活動報告一覧】  
検索してみてください



【ホームページ】



【申し込みフォーム】